

## 林田プログラム委員長

先月パスト会長会を開催しました時にいろいろな話が出た中でクラブフォーラムをしようと提案があり、藤本会長・西野情報委員長と相談し、テーマを決めさせていただきました。内容は、大野でありましたIMでの尼崎西RC田中毅パストガバナーの講演の内容より抜粋し参考資料を添付してあります。きたんのない意見を述べて今後の活動に役立てていきたいと思ひます。記録の方をよろしくお願ひします。

**さくら班** リーダー 前田章 記録 山田栄  
班員 池田伊三美 林田千之 東堅

※ 班の会員で資料に従ってアンケートしました。

### (1) あなたはなぜロータリーに入ったのですか？

新しい友人を得るため	3人
クラブ活動を通じて個人奉仕をするため	5人
社会的なつきあいによって人間性を高めるため	4人
実業家や専門職種のつきあいによって利益を得るため	2人
心を通わせる	1人
自己改善	3人
心温まる親睦	5人

- ・ロータリーは1年交代で役が変わることに魅力を感じた。
- ・青年会議所退後そのままロータリーに入る
- ・丸岡町にいて顔は知っていたが親しく話しをする事により人間性を高める。
- ・付き合いによって人間性を高める。

### (2) ロータリアンは対社会的にどんな責任と義務がありますか？

- ・市民として批判される事のない様に、人前で話すことが出来る行動を
- ・倫理観の上に成り立つ事 リーダーシップを発揮していく事が大事
- ・社会的奉仕をすることが大事
- ・社会的に模範となるリーダーシップを
- ・地域社会に根づいた活動によりリーダーシップを発揮して個人と社会の絆を結びつける。  
会合・奉仕活動に必ず出席する。

友情	5人
ビジネス上の発展	2人
個人の成長と発展	5人
リーダーシップ開発	2人
地域社会の活動的な市民	4人
楽しみ	3人
人前で話す自信をつける	4人
社交術を身につける	4人
倫理観の醸成	5人
文化的意識	4人
奉仕の機会	5人

**すいせん班** リーダー 下田重道 記録 高嶋勝美  
班員 釣部勝義 北勇一 下村晴夫

### (1) あなたはなぜロータリーに入ったのですか？

- 友人を得るため
- 社会的つながり、人間性を高める
- 青年会議所の延長
- 社会奉仕、地区の貢献

### (2) ロータリアンは対社会的にどんな責任と義務がありますか？

- 地域社会活動的な市民
- リーダーシップ開発
- 奉仕の機会
- 人間性の向上、倫理感の醸成、道徳の維持
- 原点に返って体験による汗をかか。
- 公というものに積極的に取組む



# クラブフォーラム

ゆり班

リーダー 西野清志 記録 小見山修  
班員 中島忠信 水上智愛 佐々木良英

## 第1回

### (1) あなたはなぜロータリーに入ったのですか？

- ★ 新しい友人を得るため、及び仕事外での付き合い
- ★ 社会的な奉仕と物事を考えて
- ★ 大人社会での勉強会と考えると
- ★ 人間性を高める為
- ★ 人の為、社会の為に、奉仕することを思い
- ★ 外国旅行に出てロータリアンとしてステータスの高まりに対し考えさせられた。

### (2) ロータリアンは対社会的にどんな責任と義務がありますか？

- ★ クラブ各委員会が社会のニーズに合致する行動をとる。
- ★ ロータリアンとしての品格の向上
- ★ 業界でのリーダーとして地域社会のリーダーとして行動をする
- ★ 価値あるロータリークラブ、ロータリアンとしての行動をとろう。
- ★ ロータリークラブでの種々の動きの中で、ロータリアンとしてクラブ向上の為の活動をしよう、
- ★ 会員数は少なくともクラブの質を高め地域社会の皆様が受け入れられるクラブにしよう



**あじさい班** リーダー 横山茂樹 記録 金 定基  
班員 澤田越生 林田数一 川端克治

### (1) あなたはなぜロータリーに入ったのですか？

- ① 知人・友人のつながりの中で、勧められて地域のリーダーとの交わりを求め、共に地域に働きかける存在を目指した。(地域の中で対人関係を深めるため)
- ② 企業のトップとしてお山の大将にならぬよう、刺激され・勉強する為 (自己研鑽のため)

### (2) ロータリアンは対社会的にどんな責任と義務がありますか？

- ① 自己を高め、地域に貢献してゆくこと。
  - ・ 異業種の長が集まっており、力を合わせ社会に役立つことを実践していく。
  - ・ ロータリアンとしてのステータスを体現していくこと。
- ② 地域のリーダーたるロータリアンが、相互に理解しあい親睦を深めれば、それ自体地域のムード作りに役立つはず。

### (3) その他

- ① 以前のロータリークラブには地域のボスたる年長者の威厳から来る緊張感があり、またそのような雰囲気から学ぶ事も多かった。
- ② 親睦委員会で夜間集まり、アルコール・料理抜きで、ノートと鉛筆を手に勉強会(オリエンテーション)をしたことがある。議論の中から学ぶ事が多かった。(まず、アルコールありきの親睦会だけではない。)



## ひまわり班

リーダー 野尻昇 記録 山下健治  
班員 竹澤秀雄 藤本豊 林田恒正



### (1) あなたはなぜロータリーに入ったのですか？

- ・周辺からの強い勧め、誘い
- ・地域の人に溶け込みビジネスを生かす、会社の発展のため
- ・立派な有名人や雲の上の人とも思われた著名人が入会していてあこがれがあった。
- ・色々な仕事や分野の人に会える
- ・つき合いの幅を広めるため
- ・自己管理や自己改善ができる

### (2) ロータリアンは対社会的にどんな責任と義務がありますか？

- ・地域一般の人に本当に喜んでもらえる奉仕活動、必要と求めている活動を行う責任と義務があると思うが、実際にはロータリーを金持ちの道楽としか見られていない面もある。
- ・いつも同じような活動ばかりするのではなく、時機とニーズに合致した社会奉仕をする義務と責任があると思うが、余裕のある人たちの集団としてしか評価されていないように思える。
- ・個人的な責任として約束を守る。悪いことはできない責任がある。事件事故などを起こした場合には、自ら退会すべきである。
- ・地域の奉仕活動のリーダーと標榜するのであれば地域の区長などの役職は進んで受けるべき義務がある
- ・一般の人から入会したいと希望者が集まるような団体として、個人としての魅力が必要だ。
- ・地域の人が本当に求めていることを徹底してバックアップするような活動が求められているのではないか。
- ・地域の評価を上げることが目的ではないが、ロータリアンだけが動くのではなく、リーダーシップをとって多くの人を巻き込んで効率よく奉仕活動をしなければ、事業の効果が上がらないばかりか、認知度が下がり魅力が薄れ、結局会員が増えない。
- ・ポリオや交換留学生など世界的、地区的な活動は顕著なものがあり、また個々のクラブも多様な取り組みをしているが、個々のクラブの活動には限界があり、一般住民の認知が低い原因のひとつではないか。また、地区の活動に対する個々のクラブの負担が大きく、組織の運営のための活動が大きく、本来のクラブの活動が制限されているように感じる。大きな地区には地区と各クラブの間に中間的な組織が必要であり、今年県単位で行われたIMやRYLAのように県単位や地域単位のクラブが連合体としてまとまって、地域に密着した事業を増やすべき自己改革の責任があると思う。

## クラブフォーラム まとめ

今回、会員皆様のロータリーに対する考え方を聞く良い機会でなかったかと思えます。各班の話し合われた記録を見ますと、入会の動機は、友人に勧められてとロータリーに入会する事で自分の業界と違った分野の方と交流が出来る事で自己研鑽に繋がると考えられた事が多いように思われます。次にロータリアンは対社会的にどんな責任と義務がありますかの問いには、地域社会の中でリーダーシップを発揮出来るような自己啓発の必要性が多く会員から発言があったように思われます。又、社会人として倫理観の醸成についても同じような意見が多かったように思われます。このことを良く考えてみると、ロータリーはボランティア団体ではなく、奉仕の団体です。具体的にはボランティアは道端に捨ててある空き缶を拾って歩きますが、空き缶を捨てない人を育てるのがロータリーの奉仕活動です。今、社会は大変乱れています。自分さえ良ければ他の人がどうであろうと関係ないという世の中です。私達ロータリーが世直しをしなくて誰がやれます。今回の話し合いで丸岡ロータリーのやるべき方向が出ました。ではどうやっていくか、もっと具体的に会員の皆様と話し合いたいと考えます。後半3月、4月の2回のフォーラムの時間を設けてありますので、情報委員長にお願いして是非、会員の皆さんと実践方法を話し合い勉強し、知識を知恵として、次年度の活動につなげていって欲しいと藤本会長と話し合いました。会長共々、心から願うものです。